

各班検討結果 【結果概要】

テーマ：「めざす姿の実現に向けて、取り組むべきことや協働・連携の方法を考えよう」

各班（分野別）で出された「これから取り組むべきこと」は、主に以下の内容となった。

分野（班）	これから取り組むべきこと（※主な意見）
1. 人と人との絆を紡ぐまち	<p>【コミュニティの拠点になる空家の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション1F空き家にNPOによる集える場所づくり（市民・事業者・団体） ・マッチングの支援（行政） ・自治会等とは異なるより小さな組織への活動支援のしくみ（行政） <p>【市民が福祉に取り組みやすいまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口の情報や参加機会の提供から一歩踏み込む（行政）
2. 子どもが大切にされるまち	<p>【受け止めてくれる関係づくり・17:15以降の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINE・チャットで相談（市民・事業者・団体） <p>【困りごとのトリアージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談を受ける側のトリアージ（市民・事業者・団体） <p>【活動の楽しさの発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンター制度（ちょっと先輩）（市民・事業者・団体）
3. 健幸（けんこう）長寿のまち	<p>【幅広く柔軟に医療人材を募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者が登録できるシステム（市民・事業者・団体） <p>【まちじゅうで健康・医療に関する情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで買い物ついでに測定・相談（市民・事業者・団体） <p>【気軽に運動できる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつでも運動できる場所の創出（市民・事業者・団体）
4. みどりあふれる持続可能なエコタウン	<p>【企画やイベント・ポイント活用を通じた普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション企画→アプリポイント→商品、地域商品券、食ロスゼロのまち協力店、割引券（行政） ・まつりイベントの際のゴミ対応→エコポイントに（行政） <p>【関心の有無にかかわらず実践につなげる活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段目にする所への表示（行政・企業など） ・シェアサイクルの設置場所増やす（行政）
5. 魅力・元気・文化を誇れるまち	<p>【様々な手法による情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ところんにPRしてもらう（行政） <p>【「ついでに」寄ってもらう、滞在時間を伸ばす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨットコなどからいろいろな所へ広げる（市民・事業者・団体） ・農→食など、色々な分野を楽しむコース（市民・事業者・団体） ・ドームで試合を見た後に／ラーメンのついでに〇〇する（市民・事業者・団体） <p>【イベント感を出す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージズのまわりに飲食店増やす（市民・事業者・団体） ・その日だけ限定で歩行者天国にする（行政）
6. 自然と調和する住みよいまち	<p>【渋滞の解消・公共交通の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の積極的利用（市民） ・自治会等によるバス停等の改良・管理（市民・事業者・団体） ・公共交通不便地域の解消（行政） ・交通管制の見直し（行政）、公共交通利用への助成（行政） <p>【自然環境の保全・活用・PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民による緑化・団体による植栽の管理等（市民・事業者・団体） ・景観ルール・協定づくり（行政） <p>【市民活動全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付窓口の一本化（行政）

<p>7. 未来（あす）を見つめたまちづくり</p>	<p>【男女共同に向けた役割分担見直し】 ・企業も男性が看護休暇とりやすく（市民・事業者・団体）</p> <p>【財政の開示 市民の財政の理解】 ・行政が財政状況を積極的に開示する（行政）</p> <p>【子どもの行政・まちづくりへの参画】 ・子どもの自治会等への参加。子どもとまちづくりの話し合い、イベントへの子どもの参加（行政／市民・事業者・団体）</p> <p>【宿泊場所の創出に向けた民泊、再開発】 ・市民が空家などの民泊化を検討してみる（市民・事業者・団体）</p>
----------------------------	--

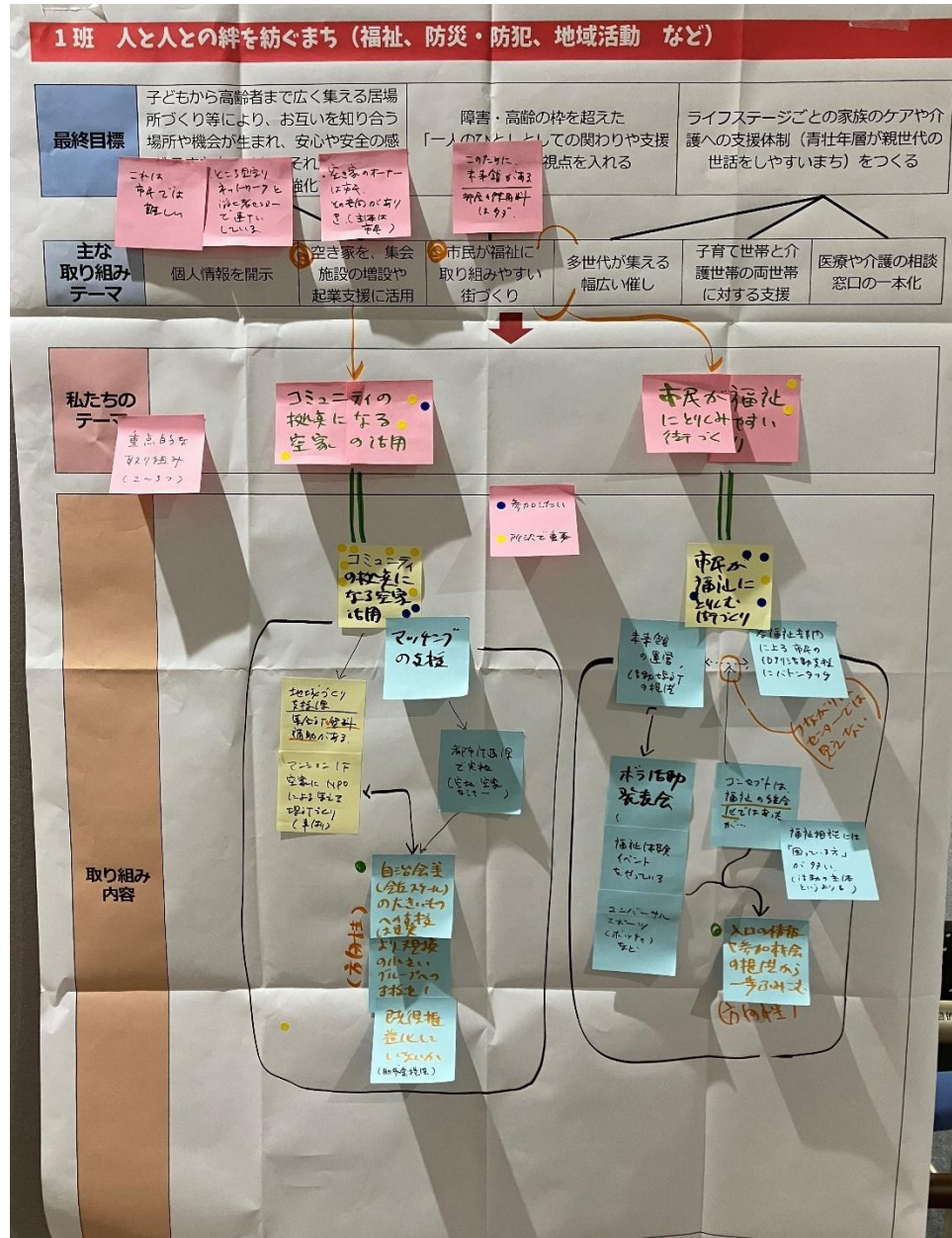
各班検討結果 【班別（詳細）】

凡例	
黄色文字	: 市民、地域、団体、企業が取り組むこと
青文字	: 行政がサポート、連携すること
○	: 興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
●	: 所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

1 班・人と人との絆を紡ぐまち（福祉、防災・防犯、地域活動 など）

<p>テーマ</p>	<p>コミュニティの拠点になる空家の活用 (○ : 1 票 ● : 3 票)</p>	<p>市民が福祉に取り組みやすい街づくり (● : 2 票)</p>
<p>取り組み</p>	<p>【コミュニティの拠点になる空家の活用】 (○ : 2 票 ● : 7 票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングの支援 ・ 地域づくり支援課 集会所賃料補助がある ・ マンション1F 空き家にNPOによる集える場所づくり (事例) ・ マッチング支援は、都市計画課で実施 (空地・空家セミナー) ・ 自治会等 (会員スケール) の大きいものへの活動支援策 (活動費含む) はすでに充実している。より規模の小さいグループへの支援を！ ・ 支援先が既得権益化していないか、という意見もある (助成金提供) 	<p>【市民が福祉に取り組みやすい街づくり】 (○ : 4 票 ● : 1 票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもと福祉の未来館の運営は、活動場所や情報の提供を行うが、地域への定着など活動のその先は、各福祉部門の支援に引き継がれ、未来館では見えにくい。 ・ 未来館のコンセプトは福祉の結合化ではあったがどうか。 ・ 活動支援として、ボランティア活動発表会、福祉体験イベント、ユニバーサルスポーツ (ボッチャ) などの取組はある。 ・ 福祉相談も実施しているが、「困っている方」が多い。(活動の主体になるというよりは支援を求める市民) ・ 入口の情報や参加機会の提供から一步踏み込むことが課題。

【1班模造紙】



2班・子どもが大切にされるまち（子育て・教育 など）

凡例	
黄色文字	: 市民、地域、団体、企業が取り組むこと
青文字	: 行政がサポート、連携すること
○	: 興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
●	: 所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	相談先を迷わないための窓口をつくる （ワンストップサービス、子供よろず課（●：1票）	活動の楽しさを発信する（●：4票）
取り組み	<p>【子育てサロンを開く】（○：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人」がいて、「場所」があることが重要。常設でなくてもよいので、拠点となるサロンを開く ・相談へのハードルを下げる（手遊びの会などでの会話が相談につながる。専門家による相談窓口には行きにくい人向け） ・子育てサロンは、児童館で取り組みがあるので、既存の児童館から遠い地域を中心に活動を立ち上げる ・活動場所の提供（まちづくりセンターはよく使われている） <p>【地区ごとのネットワークをつくる】（○：2票 ●：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレママ同士をつなぐ（○：1票 ●：1票） ・地区ごとの子育てサポーターに相談できるようにする。（●：1票） <p>【困りごとのトリアージ】（○：5票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを階層的に判断して、適切な場所へつなぐ役割。専門職でなくても、地域の人でもできることはある ・地域の人が、一定の専門知識や守秘義務などを学ぶための支援 <p>【相談を受ける側のトリアージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談を受ける側のトリアージも必要 <p>【17：15以降の支援】</p> <p>【受け止めてくれる関係づくり】（○：1票 ●：4票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てで目一杯で、身近に頼れる人がいない夜などに、大人の落ち着いた声がきけるだけでよい ・LINE・チャットで相談できるだけでよい（○：1票 ●：1票） ・電話で相談できる窓口。相手の顔は知らなくてよい ・つながりたい人たちをつなぐ ・就学後は教育センター ・市が活動の相談に乗る（●：1票） 	<p>【お祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身に、子ども時代の楽しい経験が重要。 ・活動を広める場にもなる <p>【OB・OGがずっと関わられるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時の達成感から、継続的に関わられるようにする。 <p>【メンター制度（ちょっと先輩）（○：3票 ●：2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てのちょっと先輩とつながる ・つながりたい人たちをつなぐ <p>【紙で発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は紙で配信した方がよい。ネット配信は開く手間がかかる。 ・広報・HP ・放送+メール <p>【子どもに関わることの楽しさや大切さを学ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級の利用を促進する（教員は、若者にとってコスパが低い職業と思われている時代だからこそ、必要）

【2班模造紙】

2班 1

子どもたちが自分から育ち、
様々な力を育める

〇〇が 行政が 義務教育終了までに「主体的に行動できる」社会で生きていく

最終目標 2 どの家庭環境にある人でも元気に安心して子育てができる
3 まちぐるみ、地域ぐるみ(子育て中以外の人も巻き込む)で次代を担う子ども達を育てる

主な取り組みテーマ 子育てに関してワンストップで解決する取組み
子育てに関する困りごとのトリアージ
17時15分以降の子育て支援

私たちのテーマ 相談先を知らないための窓口をつくる(ワンストップサービスもよびます)
活動の集まりを発信する

まちづくりセンター
子育てサロンを南く
児童館の新しい地域で活動
地域のネットワークをつくる
ママ同士のつなぐ
地区の親子サークル相談
17-15以降の支援
受止められている(件数)
LINE 4チャットで相談
大の落とした声かけを大切に
LINE相談
電話で相談できる窓口
顔は知らないでもいい

お祭り
OB・OGがずっと前住して
達成感(お母さん)
ネット・制度(お父さん)
新代で発信
用がなくて見
広報HP
放送メール
教師-子育て
コスト低い

家庭教育支援
相談と受付けのトリアージ

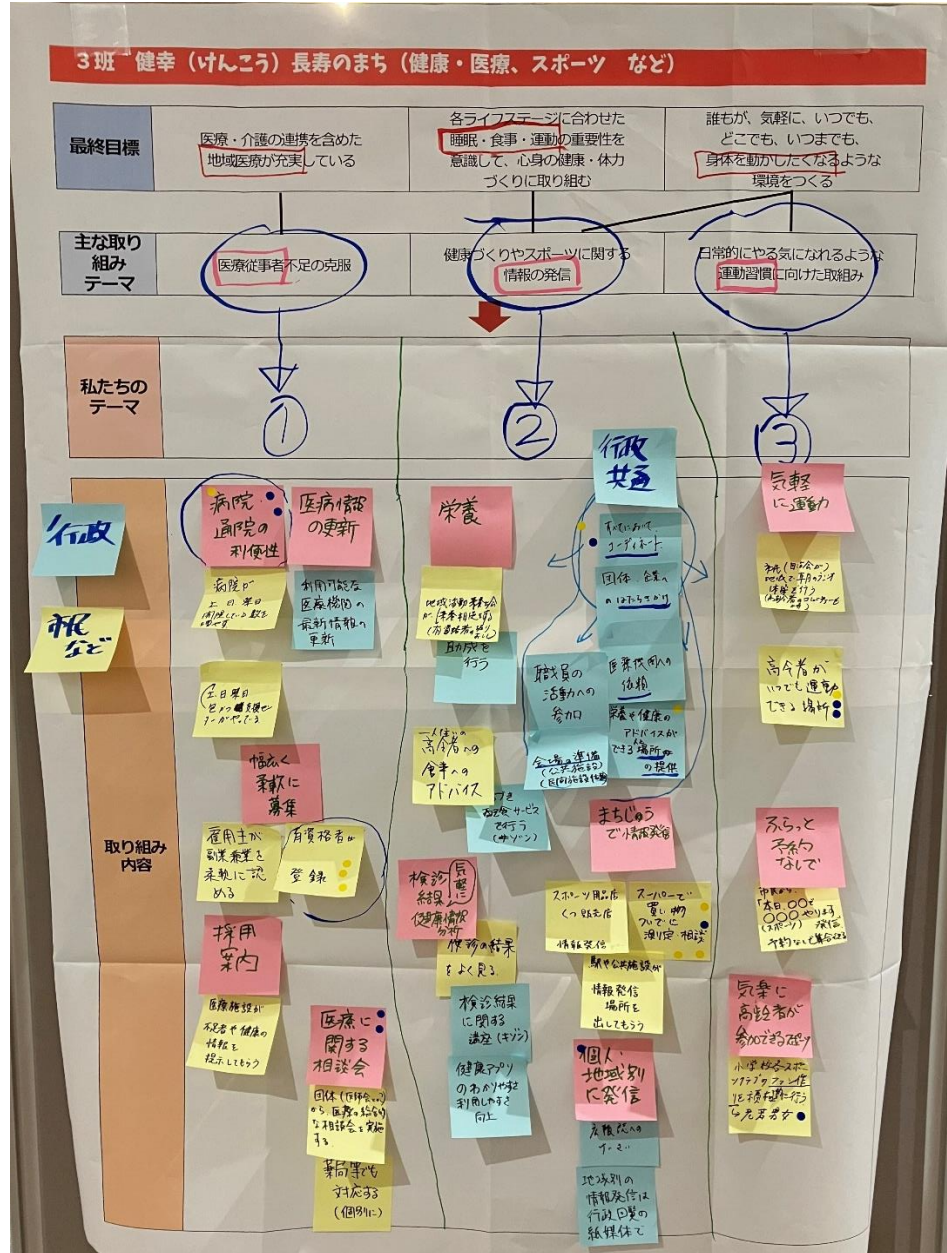
取り組み内容

3班・健幸（けんこう）長寿なまち（健康・医療、スポーツ など）

凡例	
黄色文字	：市民、地域、団体、企業が取り組むこと
青文字	：行政がサポート、連携すること
○	：興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
●	：所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	医療従事者不足の克服	健康づくりやスポーツに関する情報の発信	日常的にやる気になれるような運動習慣に向けた取り組み
取り組み	<p>【病院 通院の利便性】 (○：2票 ●：1票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が土日祝日に開院している数を増やす ・地域包括支援センターがやっている（土日祝日） <p>【医病情報の更新】 ・利用可能な医療機関の最新情報の更新</p> <p>【幅広く柔軟に募集】 ・雇用主が副業・兼業を柔軟に認める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者が登録（●：3票） <p>【採用案内】 ・医療施設が不足者や健康の情報を提示してもらう</p> <p>【医療に関する相談会】 (○：2票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体（医師会とか？）から医療の総合的な相談会を実施する ・薬局等でも対応する（個別に） 	<p>【栄養】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動栄養士会が栄養相談する（有資格者の掘り起こし） ・上記について助成を行う ・一人住まいの高齢者への食事へのアドバイス ・引き続き配食サービスを行う（既存） <p>【まちじゅうで情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ用品店やくつ販売店で情報発信 ・スーパーで買い物ついでに測定・相談（○：1票 ●：3票） ・駅や公共施設に情報発信、場所を出してもらう <p>【健診結果や健康情報の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診の結果をよく見る ・健診結果に関する講座（既存） ・健康アプリのわかりやすさ、利用しやすさ向上 <p>【個人向け・地域別に発信】（○：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌への掲載 ・地域別の情報発信は行政回覧の紙媒体で 	<p>【気軽に運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民（自治会）が地域で朝のラジオ体操を行う（高齢者のコミュニティも上昇） ・高齢者がいつでも運動できる場所（○：2票 ●：1票） <p>【ふらっと予約なしで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から「本日、○○で○○○（スポーツ）やります」発信・予約なしで集合できる <p>【気楽に高齢者が参加できるスポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校各スポーツクラブのファン作り（老若男女）を積極的に行う（○：1票） <p>【行政の役割（全テーマ共通）】 (○：1票 ●：1票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべてにおいてコーディネート ・団体・企業へのはたらきかけ ・医療機関への依頼 ・職員の活動への参加 ・会場の準備（公共施設）（民間施設依頼） ・栄養や健康のアドバイスができる人と場所の提供（●：1票）

【3班模造紙】



4班・みどりあふれる持続可能なエコタウン（環境 など）

凡例

黄色文字：市民、地域、団体、企業が取り組むこと
 青文字：行政がサポート、連携すること
 ○：興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
 ●：所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	啓発（伝える工夫 etc.） 行政が担当	実践（見える化と広がり） 市民、地域、団体、企業が担当
取り組み	<p>【啓発すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市→学校へのPR 子供たちを介するPR（○：1票） ・（実践につなげる）ゲームにする（○：1票 ●：1票） ・行政からの広報（SNSの活用） ・ポイントにできる点をインフルエンサーに紹介してもらう ・PR動画作成（HPに載せる） ・省エネイベントの企画（市民まつりなどと協働） ・エコアクション企画→アプリポイント→商品、地域商品券、食ロスゼロまち協力店、割引券（○：4票） ・交換商品を地元特産品などにする ・エコアクションアプリの検討（企業に依頼・・・？）（○：1票） ・まつりイベントの際のゴミ対応→エコポイントに（○：3票） ・体験型イベント（みどりのふれあいウォーク）、体験型学習フィールド（クリーンセンター、三富今昔村） ・公民館、まちづくりセンターなどでの講習会の開催 ・アナログ的なサポートも必要（●：1票） <p>※興味関心のあるなしに関わらず伝えていくことも重要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的インセンティブ（補助金メニュー充実） ・社会的インセンティブ（表彰、認定、HP公表） ・普段目にする所への表示 ・シェアサイクルの設置場所増やす（○：4票 ●：1票）（活用の促進に向けて） ・行政によって分別の内容が違う（ごみ分別・回収への配慮が必要） 	<p>【実践に向けての考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心（経済）に余裕のある人の方が実践に近い ・省エネの効果の確認（わかっている人は確認している） ・アプリの活用で効果・メリットを伝える ・自分ごととして楽しく取り組めることが大切（○：1票） ・市民からの提案によるポイント（メリット）制度など ・身近な地域、町会、自治会からの投げかけ。高齢者にもわかりやすく（○：1票） ・学校から子供たちへの意識→親たちへつなぐ（○：1票） ・教育現場で市の取り組みを紹介 ・何をすべきかの情報収集（自治会の回覧等で周知） ・啓発イベント、セミナーに参加→アプリポイントへ ・エコアクション→企画提案→採用、アプリポイントへ ・どうやったら楽しめるかという意見の募集 ・省エネイベントへの参加（現状を知る活動） ・省エネアプリのダウンロード（既存のもので使えるものがあれば活かす）

(見える化への取組みとして) ⇒持続可能なエコタウンづくりに向け

- ・生活につながるものからの取組みが大切
- ・市民ベースで楽しく参加できるシステムづくり
- ・地域、学校などを介した展開、啓発

5 班・魅力・元気・文化を誇れるまち（産業・文化 など）

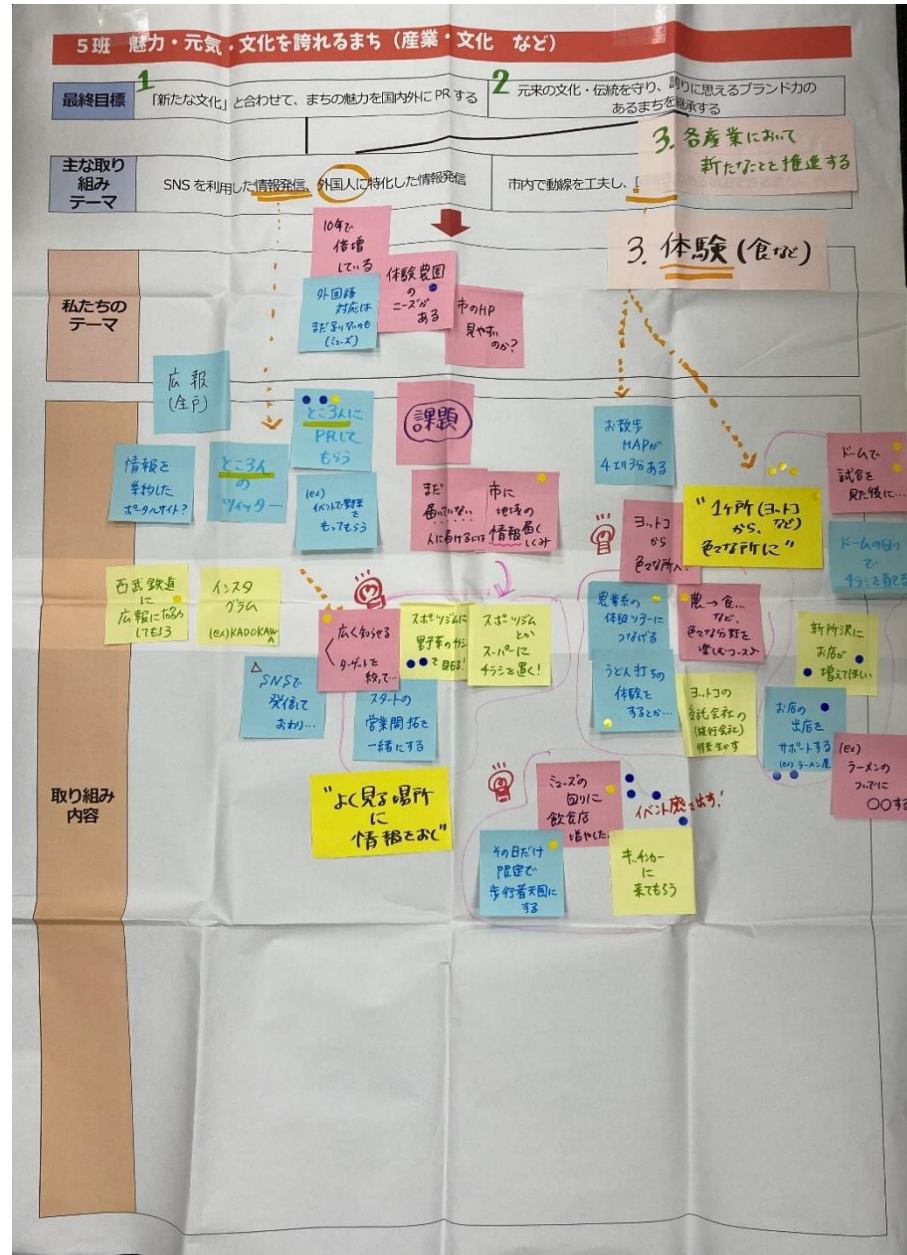
凡例

黄色文字：市民、地域、団体、企業が取り組むこと
 青文字：行政がサポート、連携すること

○：興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
 ●：所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	SNS を利用した情報発信	外国人に特化した情報発信	体験（食など）
取り組み	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武鉄道に広報を協力してもらう（●：1票） ・民間企業や個人によるInstagramでの発信（ex. KADOKAWA） ・広報の配布（全戸） ・情報を集約したポータルサイトの運営 ・ところんにPRしてもらう（○：2票 ●：1票） （ex）イベントで野菜をもらってもらう <p>※取り組み上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ届いていない人に届ける工夫 ・市側に地域の情報が届く仕組み ・SNS で発信して満足して終わるのは避ける <p>【よく見る場所に情報をおく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業関係者・団体が、スポーツジムやスーパーなど身近でよく目にする場所に、野菜のチラシを貼る（○：2票） ・広く大多数の人に知らせる形と、対象者（ターゲット）を絞って知らせる形の両輪で進める（●：1票） ・（販路開拓などの）営業のスタートの時期は（官民で）一緒に取り組む 	<p>【外国人への発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験農園のニーズに応じていく（○：1票） ・市のHPを外国人にとって見やすい内容にする（言語など） ・ミュージズなど、公的施設での外国語対応を（現在はまだ不十分なので）充実させていく 	<p>【1か所（ヨットコなど）からいろいろな所に】（●：4票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お散歩MAP（4エリア分）を活用する【ヨットコから色々なところへ】 ・農から食など、色々な分野を楽しむコースを作り、色々な魅力を楽しんでもらう（●：1票） ・ヨットコの受託会社（旅行会社）の強みや把握している情報を生かす ・農業系の体験ツアーにつなげる（●：1票） ・うどん打ちの体験をする（●：1票） <p>【西部ドームで試合を見た後に楽しめる流れをつくる】（●：2票）</p> <p>「（試合後に）ラーメンを食べて、ついでに○○する」といった流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新所沢にお店を増やす（○：2票） ・お店の出店をサポートする（○：3票）（ex.）ラーメン屋 ・ドームのまわりでチラシを配る <p>【（施設だけでなく周辺にも）イベント感・（非日常感・特別感）を出す！】（○：4票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージズ周辺に飲食店増やす（●：1票） ・キッチンカーに来てもらう ・その日限定で歩行者天国にする（●：1票）

【5班模造紙】



6 班・自然と調和する住みよいまち（都市計画 など）

凡例
 黄色文字：市民、地域、団体、企業が取り組むこと
 青文字：行政がサポート、連携すること
 ○：興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
 ●：所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	渋滞の解消・公共交通の利便性向上	自然環境の保全・活用・PR
取り組み	<p>【市民による公共交通の利用】（○：1票 ●：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が車の利用を控える ・市民が公共交通を利用する（●：1票） ・市民が公共交通を活用する（○：2票） ・利用者が乗降時間に関する意識を持つ ・市がオンデマンドバス導入 ・市が交通管制の見直し（●：1票） ・市役所は鉄道によるボトルネックの解消…のコストを知ってもらう ・市役所は車を持たない市民に対する助成（●：1票） <p>【自治会等による管理・修繕】（○：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、企業がトトロバス停などの整備を行う ・自治会等が資材の提供を受けて簡単な修繕（草刈り等）を行う ・手続きの簡略化 <p>【住民からの提言 受け皿のしくみづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民は、地域交通の問題点を提言する ・地域・団体・組織は、住民からの提言が途絶しないよう行政に届ける仕組みを構築する ・地域住民・町内会 「何かして欲しい」ではなく、「こうしたい!!! これをやりたい!!!」満足度アップ ・街の中心部と郊外との意識が異なることがあるので、集約できる仕組みをつくる ・各コミュニティセンター等に「市民の意見を汲み上げる」仕組みを設ける 	<p>【市民による活動への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民はまち歩きなど、季節に応じた催しに参加する ・市民が自然保護活動へ参加する ・市民が自然環境保護活動へ寄付する ・新しい市民が環境に配慮した住まいを選択する <p>【市民団体による管理】（●：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体が緑地・植栽の管理を行う（○：1票） ・住民・活動団体等が、景観・土ほこり対応のため花の種をまく ・地権者・活動したい人のマッチング ・予算の流動性の確保 <p>【市民による緑化】（○：2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が宅地内の緑化を推進する（○：5票） ・市が公共施設の緑化を推進 <p>【景観ルールづくり・協定】（●：1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民は、個々の価値から景観全体の価値として認識する ・住民が街並みのあり方を検討し、地区計画や建築協定等に繋げる（○：1票） ・市が地域のまちづくりに関する意識向上について支援する。 ・市として望ましいと思う姿を強く打ち出す（押しつけでない） ・皆で決めたルールを制度として続けていく（オーソライズする） ・市が、緑化推進の情報発信を強化 ・市が、市民・団体等の活動に必要な技術、資材等を提供する→地区計画や建築協定などの適切な運用を図る

テーマ	渋滞の解消・公共交通の利便性向上	自然環境の保全・活用・PR
	<p>【ワンストップ窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は、市民の要望によく応じていると思う。今後も引き続き期待する ・市が受付窓口（メール）の一本化（●：1票） ・市が、市役所と市民活動団体等をつなぐ場を提供する ・市役所は、縦割り行政を可能な限り排して横断的運用をされるべき ・市役所は、単体で行うことは難しいため連携が重要 	

7班・未来（あす）を見つめたまちづくり（行財政 など）

凡例	
黄色文字	: 市民、地域、団体、企業が取り組むこと
青文字	: 行政がサポート、連携すること
○	: 興味・関心があり、参加してみたい取り組み（青シール）
●	: 所沢市にとって重要な取り組み（黄色シール）

テーマ	男女共同	財政	子ども参加	宿泊場所
取り組み	<p>【看護休暇（男性） 役割分担見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業も男性が看護休暇とりやすく（○：1票 ●：1票） 市民が自治会・町内会活動での役割分担を見直す（○：1票） 市民が地域組織の見直しを行う 市民が災害時の避難所運営を見直す（男女役割、女性、外国人、LGBTQ） 行政が、率先して男性の育休（長めの）をとる。とりやすい仕組みを作る。看護休暇も 行政が、「取り残されやすいのは誰か」を考える →行政が取り残さないことを進めないと男女共同が進まない 行政が、広報をもう少し活用する 	<p>【財政の開示 市民の財政の理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が求めすぎないで自分でやれることはやる（○：1票） 市民が行政の財政状況を理解するように努める 市民が疑問、不明点を質問する。積極的に！ 行政が財政シミュレーション示す→目標値から逆算 行政が財政状況を積極的に関与する（●：2票） <p>【市民の参加意識を高める←最初は市が支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民は参加意識↑（パブコメ、審議会、（投票）年少者も） 市民が、市民モニターを採用、もっと（生の声拾う） <p>→意識調査の補完 →今の市民意識調査が陳腐化している</p>	<p>【子どもの自治会等への参加。子どもとまちづくりの話し合い、イベントの子どもの参加】（●：6票）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が、子どもが参加する、できるイベント作り（●：1票） 市民が積極的に地域のイベントに参加する等、日頃からあらゆる世代が関わり合う 市民が子どもに自治会、町内会の役員や行事の企画運営をやらせてみる（○：2票） 市民が身近な子どもたちとまちづくり等の話をして声を引き出す（○：1票 ●：3票） 市民が各年代からの意見を聞く習慣をつける 市民が地域の公的活動に子ども・若年者を帯同させる（体験） 行政が、インターネットを活用した情報収集（子どもから） 行政が今日のような会議あるいはイベントをあらゆる世代が参加する形で実施する 	<p>【民泊、再開発】（●：3票）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が観光客を積極的に受け入れる街になることを認識する 市民が空家などの民泊化を検討してみる（●：1票） 市民が民泊に協力（空家、郊外の）（○：1票） 市民が観光客（外国人含む）の民泊を受け入れる（田舎での農作業体験など） 行政が再開発による整備を進める 行政が、重点分野の人員（質・量）確保（職員数1,614名定員のメリハリ）→人事戦略が見えないよ 市が（行政が）民泊コーディネートする（空家、農家など） トトロの森「メイとさつきの家」宿泊プラン

テーマ	男女共同	財政	子ども参加	宿泊場所
	<ul style="list-style-type: none"> ・市は研修ができているか、できていないか現場、実務チェック。男性目線× “しってる”から”してるに” ・行政が男女別の人数を事前に決める ・行政、PDCAのAまで確実に行う 		<ul style="list-style-type: none"> ・行政が、若年者、子どもたちとの接点機会を増やす ・行政は、小中学校でまちづくりを話し合う授業を設ける。出前講座も行う ・子どもの頃から地域愛教育！ 	

